

糖尿病患者におけるPersonal CGM(Continuous Glucose Monitoring)の有用性についての研究

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	糖尿病患者におけるPersonal CGM(Continuous Glucose Monitoring)の有用性についての研究
倫理審査 受付番号	第 3400号
研究期間	2020年 1月倫理審査承認日～2022年12月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に糖尿病・内分泌・代謝内科を受診された糖尿病患者さんでPersonal CGM(リアルタイムCGM、FGMを含む)を使用している方 2014年 1月 1日～2021年12月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報、Personal CGMの結果

研究概要

（研究目的、意義）

内因性インスリン分泌が低下した糖尿病患者さんにおいては、低血糖を回避しつつ血糖管理を行うことが求められます。そのためには、正確に患者さん自身の血糖変動を把握する必要があり、自己血糖測定(SMBG)に加えて、近年では、患者さん自身が血糖の自己管理を行うために使用する連続血糖測定機器、Personal CGMが使用されるようになってきました。我が国では、Personal CGMの有用性について調査した報告は少なく、Personal CGMの使用により血糖管理や治療内容にどのように変化があったかを評価し、Personal CGMの有用性を明らかにすることを目的としています。

（研究の方法）

診療録に記録された病気に関する情報(体重、投薬内容やインスリン使用量、糖尿病の合併症の有無、血液・尿検査結果など)やPersonal CGMの結果などを収集し、Personal CGMの導入前後で検査結果や治療内容がどのように変化したかなどを調査します。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、医学論文や医学学会での研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先

兵庫医科大学病院 糖尿病・内分泌・代謝内科
小山 英則（研究責任者）
楠 宜樹（研究担当者）

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL | （平日 9 : 00～16 : 30） 0798-45-6592